

＜抄録作成時の注意点＞

平成 30 年 2 月 14 日改正

※今年度修正・追加になった項目については赤字で記載しております。

1-1 学術大会（支部を含む）の発表に関して

発表に関しては以下の申し合わせに従ってください。

1. 発表の内容は、本部学術大会および支部学術大会あるいは他学会で発表済みあるいは発表予定でないものに限りません。
2. 筆頭演者が発表者となります。
3. 抄録が採択された後には演者の変更をすることは認められません。発表予定者が事情（病気、忌引き、大学公務等）により学会に参加できない場合にのみ、共同演者が発表を代行することができます。その場合には事前に理由書を学会事務局に提出し、了承を得てください。ただしその発表は共同演者の実績となり、主演者の実績にはなりません。また、共同演者や代理の者がいなかった場合で事前に理由書を提出して了承を得ていても、主演者の発表の実績にはなりません。この場合は下記5の項目は適用されません。
理由なき演者変更の場合や指定時間までにポスター掲示がなされていない場合には演題取り下げとなります。こちらについては下記5の項目も適用されます。
4. 抄録の採択後に、発表を取り下げることはできません。共同演者がある場合には必ず代わって発表を行ってください。単独の場合には、発表ができない理由を文書で理事長宛に事前に送付して、許可を得てください。
5. 上記の手続きを経ずに取り下げた場合、あるいは学会当日に発表されなかった場合には、その後の本部学術大会および支部学術大会における発表を1年間許可しません。
6. 口頭発表（優秀研究発表・一般口演）とポスター発表では同一発表者は併せて1演題のみになります。ただしケースプレゼンテーションは除きます。
7. 発表者の数は8名までとし、多施設にわたる疫学調査研究のみ12名までとします。（ただし同一大学内での複数教室・講座は多施設には含みません）
8. 発表言語は、日本語、英語とします。ただし、抄録の言語に準じてください。なお日本人の発表者の場合は抄録の言語は原則日本語のみで、留学生など海外からの会員の場合は抄録の言語を英語でも可とします。

1-2 抄録について

- ・ 投稿された抄録は査読委員会が査読し、受理あるいは修正、不受理を判定します。査読はブラインドで行います。発表者が類推できる内容が含まれないようにご注意ください。特に研究倫理について記載する際は、具体的な大学名、施設名の記載は避け、「本大学倫理委員会の承認を得た」のように記載してください。
- ・ 抄録のタイトルに商品名は使用できません。
- ・ 動物実験については、倫理委員会の承認（承認番号含む）を受けていることを抄録並びにスライド、ポスターに明記してください。
- ・ 臨床研究においては、倫理委員会の承認（倫理審査委員会番号および承認番号含む）並びに被験者の同意を得ていることを抄録並びにスライド、ポスターに明記してください。
 なお、審査はブラインドで行われますので、抄録には所属機関や委員会の名称は記載せず、
 動物実験の場合：動物実験倫理委員会承認 承認番号〇〇号
 臨床研究の場合：倫理審査委員会番号 11000694 承認 承認番号△号
 のように記載してください。発表を検討している内容が倫理審査受審が必要かどうかについては学会ホームページ (http://www.shika-implant.org/coi/ethics_sample.html) にて確認してください。

倫理審査委員会番号が分からない場合は、倫理審査を受けた審査委員会に尋ねるか、<https://www.rinri.amed.go.jp/PublicPage/publictoppage.aspx> で検索してください。なお、日本口腔インプラント学会倫理審査委員会の番号は11000694です。

- ・ 症例報告や臨床の提案・工夫で単一症例を発表する場合においても、通常の医療を超えた処置または検査を行う場合には倫理審査の受審が必要です。通常の医療とは、少なくとも以下の(1)～(3)の行為をおこなわない診療とします。
 - (1)未承認または適応外の医療機器・医薬品を使用する医療
 - (2)上部構造装着後に年2回以上CTを撮影する医療（原則）
 - (3)採取した組織を解析診断する医療（原則）
 発表を検討している内容が倫理審査受審が必要かどうかについては上記学会ホームページにて確認してください。
- ・ 抄録の内容が不適正あるいは記載要領を満たしていない場合は、査読委員会の判断をもって修正を依頼する場合があります。なお、変更が適切に行われなかった場合には、採択できない場合もありますのでご了承ください。
- ・ 抄録は学会誌特別号に事後抄録として掲載されます。
- ・ 抄録が受け付けられた後の、演者ならびに発表内容の変更はできません。

1-3 共通の注意事項

抄録記入の注意事項

- (1) 表題：〔1〕表題において副題を用いる場合は、必ず2行目へ改行してください。
 - 〔2〕表題に「第〇報」は使用しない。内容のわかる副題で対応してください。
 - 〔3〕表題には、商品名を用いないでください。
 - 〔4〕以下に略語を例示した用語は、表題・本文中ともこの略語を使用してください。それ以外の略語については使用しないでください。

表題使用可能略語一覧

| 略語 | 正式名 | 日本語説明 |
|-------------|---|------------------|
| AED | Automated external defibrillator | 自動体外式除細動器 |
| BOP | Bleeding on probing | プロービング時の出血 |
| BRONJ | Bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw | ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 |
| CAD | Computer-aided design | コンピュータ支援設計 |
| CAM | Computer-aided manufacturing | コンピュータ支援製造 |
| CBCT | Cone-beam CT | コーンビームCT |
| CEJ | Cemento-enamel junction | セメントエナメル境 |
| CT | Computed tomography | コンピュータ断層撮影 |
| DICOM | Digital imaging and communication in medicine | ダイコム |
| DNA | Deoxyribonucleic acid | デオキシリボ核酸 |
| EBM | Evidence based medicine | 根拠に基づいた医療 |
| Er:YAG レーザー | Erbium-doped yttrium aluminium garnet laser | エルビウム YAG レーザー |
| ES 細胞 | Embryonic stem (cells) | 胚性幹（細胞） |
| FGG | Free gingival graft | 遊離歯肉移植術 |
| GBR | Guided bone regeneration | 骨再生誘導法 |
| GTR | Guided tissue regeneration | 組織再生誘導法 |
| HA | Hydroxyapatite | ハイドロキシアパタイト |
| iPS 細胞 | Induced pluripotent stem (cells) | 人工多能性幹（細胞） |
| ISO | International organization for standardization | 国際標準化機構 |

| | | |
|-------------|---|-------------------------|
| MRI | Magnetic resonance imaging | 磁気共鳴撮像法 |
| MRONJ | Medication related osteonecrosis of the jaw | 薬剤関連顎骨壊死 |
| MTM | Minor teeth movement | 限局矯正 |
| Nd:YAG レーザー | Neodymium-doped yttrium aluminium garnet laser | ネオジウム YAG レーザー |
| PT-INR | Prothrombin time-international normalized ratio | 止血機能検査・プロトロンビン時間－国際標準化比 |
| PMTc | Professional mechanical tooth cleaning | 専門家による機械的歯面清掃 |
| QOL | Quality of life | クオリティ オブ ライフ |
| RNA | Ribonucleic acid | リボ核酸 |
| TBI | Tooth-brushing instruction | 歯の清掃指導 |
| TCP | Tricalcium phosphate | リン酸三カルシウム |

その他、一般的な成長因子 (BMP, FGF, TGF- β 等) は略語として表題に使用可能とする。

- (2) 所属 : [1] 大学に在籍の場合 : 所属されている大学の教室または講座名を記入してください。
 [2] 病院に在籍の場合 : 所属されている病院名または科名を記入してください。
 [3] それ以外の場合 : 所属されている研修施設名 (学会が指定している研修施設に限る), または支部名 ([4] を参照) を記入してください。個人の歯科医院名の記載はしないでください。
- [4] 東北・北海道支部 英文表記 Tohoku-Hokkaido Branch
 関東・甲信越支部 英文表記 Kanto-Koshinetsu Branch
 中部支部 英文表記 Chubu Branch
 近畿・北陸支部 英文表記 Kinki-Hokuriku Branch
 中国・四国支部 英文表記 Chugoku-Shikoku Branch
 九州支部 英文表記 Kyushu Branch
- (3) 本文 : [1] ワードファイル等からコピーペーストで貼り付ける場合には、文字の大きさのポイントは関係ありませんが、書体には日本語は明朝体 (全角), 英語は Time New Roman (半角) を使用してください。一般的でない書体等使用の場合うまく張り付けができないことがあります。また特殊記号などについては本部大会演題登録システム用の外字記号を用いていない場合は、エラーや別文字に変換される場合がありますのでご注意ください。確認画面で適切に表示されているか必ず確認してください。
- [2] 句読点は全角のピリオド [.] とコンマ [,] を用いてください。
- [3] 文字数は日本語の場合、最大 1000 字程度 (全角), 英語の場合最大 300 ワード程度 (半角 ※半角英数字 2000 字までの制限があります) を目安とし 70%以上の字数を満たしてください。
- [4] I 目的, II **材料および方法**, III結果, IV考察および結論 に沿って原則記載してください。必ず行頭に I 目的 : , II **材料および方法** : , III結果 : , IV考察および結論 : を記述し、その後ろに全角スペースを一マス分入れて本文を記述してください。英文抄録の場合, I Purpose: II Materials and methods: III Results: IV Discussion and conclusion: としてください。
- [5] 症例報告に関しては「**材料および方法**」を「症例の概要」に、「結果」を「経過」に変更することを認めますが、他は [4] に準じてください。英文抄録の場合、「症例の概要」は, Outline of the case, 「経過」は Post treatment observation としてください。
- [6] 抄録本文内に謝辞は入れないでください。

文章表現 :

- () 「～と信じる」「～と確信する」「～と思う」「～と感じた」等の主観的な表現を用いていませんか?

- () 「～の失敗」等 社会的に影響を与える表現を用いていませんか？
問題事例あるいは合併症等の表現を用いてください。
- () 差別的な表現（性別，人種 など）は用いていませんか？

図表の扱い：

- () 抄録に図表，写真等は含まれていませんか？

参考文献：

- () 原則参考文献は記載できませんが，それが守られていますか？
(パテントや著作権に関連して必要な場合は例外とします)

形式：

- () **英文タイトル**は 和文タイトルと整合性のあるものとし，最初の文字のみを大文字にしてください。
例) Study of initial implant stabilization.....
- () **本文**は I 目的： ，II 材料および方法： ，III 結果： ，IV 考察および結論： と分けて全角1文字空けてから記入していますか。
例) I 目的： 本研究は……
II 材料および方法： 実験には……
- () **句読点**には「，」「.」(全角)を用いていますか？

1. 研究報告

形式：

- () I 目的： II 材料および方法： III 結果： IV 考察および結論： の項目に分けてわかりやすく簡潔にまとめられていますか？

著者数の規定：

- () 研究報告で8名まで，または他施設にわたる疫学研究の場合12名までですか？

タイトル：

- () 商品名をタイトルに入れていませんか？
- () 未承認材料名を入れていませんか？
(未承認材料を使用することが倫理委員会で認められている場合は可。ただしこの場合も商品名は記載しないこと。)
- () 固有の施設名を入れていませんか？
良くない例：○×大学付属病院インプラント科における…
○×歯科医院における…
適切な例：大学付属病院インプラント科における……
インプラント専門外来における……
- () 継続しての発表においても，その違いを明確にして簡潔な副題をつけていますか？
第○報は使用しない。
(例) ショートインプラントの臨床的評価： 骨質の影響

I 目的：

- () 何を明らかにしようとした研究であることを明確に記載してありますか？
- () 仮説を明確に示していますか？

() 術者の責任のみで臨床応用した結果の発表ではありませんね？

II 材料および方法（疫学，調査報告では「対象および方法」）：

() サンプルサイズ（試料数，被験者数），期間等は記載してありますか？

() 動物実験では，倫理委員会の承認番号を記載していますか？

() 患者や被験者を用いた研究では同意を得ていることを記載していますか？また，倫理審査が必要な研究発表においては，倫理委員会番号および承認番号を記載していますか？

() 略語についてきちんと最初にその意味を本文中で説明をされていますか？

III 結果：

() 目的に対応した結果を明確に示していますか？

() 統計処理を施した場合，その結果や統計方法を記載していますか？

IV 考察および結論：

() 今回の実験や研究結果から導き出された結論のみを述べていますか？

() 研究結果の臨床的な意義に触れていますか？

2. 症例報告

形式：

() I 目的： II 症例の概要： III 経過： IV 考察および結論： の項目に分けて簡潔にまとめられていますか？

() 各症例は最終の上部構造の装着から演題申し込みの時点で3年以上を経過していますか？

() 主訴としては「インプラント治療を希望として来院して…」は不十分かつ不適切ですので，より具体的に「〇〇部位の欠損による審美不良ならびに咀嚼困難を主訴として来院し…」のように表記してください。（参考 咀嚼困難，審美不良，発音困難）

著者数の規定：

() 8名までになっていますか？

I 目的：

() 報告する症例を通して何を提示・発表しようとしているのかを明確に示していますか？

II 症例の概要：

() 症例の年齢，性別，欠損状態，全身状態，使用したインプラントの長さ，直径など，最小限必要な情報を記載していますか？

() なぜ当該症例における治療法を選択するにいたったのかを記載していますか？

III 経過：

() 最終の上部構造装着から，あるいはその後新たな対応処置を行ってから，3年以上経過していることを明示していますか？

() どのような方法で経過を評価したかを明示していますか（X線写真，ISQ等）？

IV 考察および結論：

() 治療の実施や発表に対して患者に同意を得たことを明記していますか？

() 通常の医療を超えた処置または検査を実施していて倫理審査が必要な症例報告においては，倫理委員会番号および承認番号を末尾に記載していますか？

() 報告する症例からどのようなことが今後に生かせるかを示していますか？

() 他の処置方法を用いた場合との相違点を示していますか？

() 今後のメンテナンスにおいて問題となる点などを述べていますか？

3. 臨床での提案・工夫

ここでは経過3年以下の症例においても，特に技術や発想がユニークでオリジナル性が高く，紹介に値

すると考えられるものが報告できますが、タイトルにはそれがわかるように配慮してください。

形式：

- () I 目的： II 方法または症例の概要（または方法の概要）： III 考察および結論： の項目に分けて簡潔にまとめられていますか？

著者数の規定：

- () 演者は8名までになっていますか？

I 目的：

- () 報告する症例を通して何を提示・発表しようとしているのかを明確に示していますか？

II 症例の概要，方法の概要：

- () 紹介しようとする症例の概要（または方法の概要）が、箇条書きなどで簡潔に記載されていますか？

III 考察および結論：

- () 治療の実施や発表に対して患者に同意を得たことを明記していますか？
- () 通常の医療を超えた処置または検査を実施していて倫理審査が必要な発表においては、倫理委員会番号および承認番号を末尾に記載していますか？
- () 報告している方法が、これまでの方法に比べてどのような臨床的な利点・欠点があるのか、特徴は何か等が箇条書きで簡潔に示されていますか？
- () 安全性に対する配慮の記載がされていますか？

4. 歯科衛生士セッション，歯科技工士の方の一般口演，ポスター発表

- () 抄録は 前述の研究発表の書き方に従っていますか？あるいは『臨床の提案・工夫』での抄録の書き方に準じて記載されていますか？